

JIS

未硬化及び硬化シリコンゴムの試験方法

JIS K 6249 : 2003

(JRMA/JSA)

(2007 確認)

平成 15 年 5 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 化学製品技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	宮 入 裕 夫	東京医科歯科大学
(委員)	大 久 泰 照	昭和シェル石油株式会社
	奥 山 通 夫	社団法人日本ゴム協会
	笠 野 英 秋	拓殖大学
	加 茂 徹	独立行政法人産業技術総合研究所
	木 原 幸 弘	社団法人日本化学工業協会
	桐 村 勝 也	社団法人日本塗料工業会
	高 野 忠 夫	財団法人化学技術戦略推進機構
	高 橋 信 弘	東京農工大学
	西 川 輝 彦	石油連盟
	西 本 右 子	神奈川大学
	古 川 哲 夫	財団法人日本消費者協会
	堀 友 繁 宏	財団法人バイオインダストリー協会
		日本プラスチック工業連盟

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 9.12.20 改正：平成 15.5.20

官 報 公 示：平成 15.5.20

原 案 作 成 者：日本ゴム工業会

(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1 丁目 5-26 東部ビル TEL 03-3408-7101)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4 丁目 1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長代理 二瓶 好正)

審議専門委員会：化学製品技術専門委員会 (委員長 宮入 裕夫)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 標準課産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1 丁目 3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本ゴム工業会 (JRMA)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS K 6249:1997** は改正され、この規格に置き換えられる。

目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 定義	2
4. 試験の種類	2
4.1 未硬化シリコンゴム	2
4.2 硬化シリコンゴム	2
5. 単位記号	3
6. 試験の一般条件	3
6.1 試験室の標準状態	3
6.2 試験片の状態調節	3
6.3 数値の丸め方	3
7. 粘度試験	3
7.1 目的	3
7.2 試験の種類	3
7.3 回転粘度による方法	3
7.4 見掛け粘度による方法	3
8. 可塑性試験	4
8.1 目的	4
8.2 試験装置	4
8.3 試験片	4
8.4 試験方法	4
8.5 試験結果のまとめ方	4
8.6 記録	4
9. 硬化性試験	5
9.1 目的	5
9.2 試験方法	5
9.3 試験結果のまとめ方	5
9.4 記録	5
10. タックフリー試験	5
10.1 目的	5
10.2 試験の種類	6
10.3 指触による方法	6
10.4 鉛筆による方法	6
11. 線収縮率試験	7

11.1	目的	7
11.2	試験の種類	7
11.3	シートによる方法	7
11.4	円板による方法	8
12.	密度試験	9
12.1	目的	9
12.2	試験方法	9
12.3	試験結果のまとめ方	9
12.4	記録	9
13.	硬さ試験	9
13.1	目的	9
13.2	試験方法	9
13.3	試験装置	9
13.4	試験結果のまとめ方	9
13.5	記録	9
14.	針入度試験	10
14.1	目的	10
14.2	試験方法	10
14.3	試験結果のまとめ方	10
14.4	記録	10
15.	引張試験	10
15.1	目的	10
15.2	試験片	10
15.3	試験方法	10
15.4	試験結果のまとめ方	10
15.5	記録	10
16.	引裂試験	10
16.1	目的	10
16.2	試験片	10
16.3	試験方法	10
16.4	試験結果のまとめ方	10
16.5	記録	10
17.	永久ひずみ試験	11
17.1	目的	11
17.2	試験の種類	11
17.3	引張永久ひずみ試験	11
17.4	圧縮永久ひずみ試験	11
18.	耐熱試験	11
18.1	目的	11

18.2	試験方法	11
18.3	試験結果のまとめ方	11
18.4	記録	11
19.	浸せき試験	12
19.1	目的	12
19.2	試験方法	12
19.3	試験結果のまとめ方	12
19.4	記録	12
20.	引張せん断接着強さ試験	12
20.1	目的	12
20.2	試験方法	12
20.3	試験結果のまとめ方	12
20.4	記録	12
21.	体積抵抗率試験	12
21.1	目的	12
21.2	試験装置	12
21.3	試験の種類	13
21.4	試験片	13
21.5	常態試験	13
21.6	浸水試験	14
22.	絶縁破壊試験	14
22.1	目的	14
22.2	試験装置	14
22.3	試験の種類	14
22.4	試験片	14
22.5	常態試験	15
22.6	浸水試験	16
23.	誘電正接及び比誘電率試験	16
23.1	目的	16
23.2	試験装置	16
23.3	試験の種類	16
23.4	試験片	16
23.5	常態試験	16
23.6	浸水試験	16
	解 説	17

未硬化及び硬化シリコーンゴムの試験方法

Testing methods for uncured and cured silicone rubber

序文 シリコーンゴムは、他の有機ゴムにない特性をもっており、その特性を評価するための試験方法として、1997年に **JIS K 6249** が制定された。今回、この規格が第2版として改正された。

警告 この規格の利用者は、通常の実験室での作業に精通しているものとする。この規格は、その使用に関連して起こるすべての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。この規格の利用者は、各自の責任において安全及び健康に対する適切な措置を取らねばならない。

1. 適用範囲 この規格は、ミラブル形シリコーンゴムコンパウンド（以下、ミラブル形シリコーンゴムという。）及び液状シリコーンゴムコンパウンド（以下、液状シリコーンゴムという。）の試験方法について規定する。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS C 2320 電気絶縁油

JIS K 2220 グリース

JIS K 6200 ゴム用語

JIS K 6250 ゴム－物理試験方法通則

JIS K 6251 加硫ゴムの引張試験方法

JIS K 6252 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム－引裂強さの求め方

JIS K 6253 加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの硬さ試験方法

JIS K 6257 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム－熱老化特性の求め方

JIS K 6258 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム－耐液性の求め方

JIS K 6262 加硫ゴム及び熱可塑性ゴムの永久ひずみ試験方法

JIS K 6268 加硫ゴム－密度測定

JIS K 6271 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム－体積抵抗率及び表面抵抗率の求め方

JIS K 6300-2 未加硫ゴム－物理特性－第2部：振動式加硫試験機による加硫特性の求め方

JIS K 6850 接着剤－剛性被着材の引張せん断接着強さ試験方法

JIS K 7117-1 プラスチック－液状、乳濁状又は分散状の樹脂－ブルックフィールド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法

JIS Z 8202-0 量及び単位－第0部：一般原則

JIS Z 8202-1 量及び単位－第1部：空間及び時間